

【育てる】

学習支援クーポン支給事業（新規）【福祉総務課】

1	親の経済的な事情で子どもの学習機会に格差を生じさせないように生活困窮世帯の子どもたちを支える体制整備が必要であるため、学習塾のみで利用できる電子クーポンを活用し、塾代の一部を助成と、大学生ボランティアが定期的面談を行う伴走型の進路・学習支援を実施します。
---	---

ひとり親家庭等に対する交通費等の補助（新規）【こども未来課】

2	ひとり親家庭等が高等学校等の選択肢を狭めることなく、子どもに学びの機会の提供が求められているため、ひとり親家庭等の子どもの高等学校等入学時の学用品購入費用及び交通費（定期代）について給付・補助を行います。
---	--

ひとり親家庭に対する放課後児童クラブ保育料の助成（拡充）【保育課】

3	ひとり親家庭が生計を維持するには、子どもを預けて就労する必要があるため、ひとり親家庭の民設放課後児童クラブ保育料を助成します。
---	---

幼児同乗用自転車購入費の補助（新規）【こども未来課】

4	鉄道駅のない本市市民の移動手段として、1歳から就学前までの児童を1人以上養育している世帯が、保育園・幼稚園の送迎や買い物等のために使用する幼児同乗用自転車のニーズが高まっており、子育て世帯の経済的負担を軽減と、利便性を高める必要があるため、電動アシスト付の幼児同乗用自転車を購入する費用の一部を補助します。
---	---

子育て短期支援事業の実施（新規）【保育課】

5	保護者の育児負担の軽減と、育児と就労の両立を促進するためには、保護者の急な疾病や出張、育児疲れ等に対応できるよう、子どもの養育環境を整備する必要があるため、子どもの短期預かり（ショートステイ・デイステイ）を実施します。
---	---

幼稚園教諭の雇用環境の改善（新規）【保育課】

6	特定の判定は受けていないが発達上の特性から幼稚園の生活において困難を抱え、特別な支援が必要と考えられる子ども（気になる子）を預かるには、基準以上に幼稚園教諭を配置する必要があるため、雇用にかかる費用の一部を補助し幼稚園教諭の雇用環境の改善を図ります。
---	---

産後ケア（拡充）【健康づくり推進課】

7	核家族化などにより、十分な育児の助言や援助を受けられない産婦の心身のケアやサポート等の支援が必要があるため、育児支援を要する家庭を対象に、これまでの「訪問型」に加え、「デイサービス型」「宿泊型」を実施します。
---	--

学力向上事業の実施（読解力の向上）（新規）【教育指導課】

8	読解力の向上を図るため、市内小学校5・6学年を対象に、朝自習の時間等を活用し、読解力に特化した学習時間を設けるとともに、新聞記事を基に作成された教材（年間30回配信）を活用し、継続的に取り組みます。
---	---

不登校児童生徒に対するオンライン学習教材の導入（新規）【教育研究所】

9	不登校児童・生徒の増加が全国的な課題となっており、本市においても不登校児童・生徒が増加しており、学校に行きづらくなる理由が「勉強がわからない」が多いため、学校外で行う学習の質の向上及び学力の保障を図る必要があります。 既存のタブレット端末を活用し、アニメーションを活用した動画による問題解説など、いつでも誰でも1人でも学び直しができるオンライン学習教材を導入します。
---	--

不登校等支援員配置事業（新規）【教育研究所】

10	不登校の未然防止、学校への復帰及び学級担任の児童・生徒対応や安全確保等の負担軽減を図る必要があるため、不登校等支援員を各学校へ配置します。
----	---

【稼ぐ】

デザインを活用した新商品開発等のブランディング支援（拡充）【商業観光課】

11	今後オープン予定の光綾公園ローズガーデンや道の駅の整備による交流人口増加を契機に、市外からの交流人口を取込み、市内消費につなげるための仕組み作りを行う必要があるため、新商品の企画・開発や既存製品のブラッシュアップに意欲的な中小企業・小規模事業者等に対して、ブランド化に実績のある専門家による伴走型の支援を実施します。
----	--

道の駅の整備（継続）【道の駅整備推進室】

12	交流人口の増加を最大限に活用するため、円滑な交通環境と人々のにぎわいの場を提供するとともに、地域経済を活性化させ、「綾瀬」の魅力を市内外に発信する拠点を早期に整備する必要があります。 事業予定地の用地の測量や道の駅に必要な施設の検討を行う導入施設検討ワークショップを実施します。また、懸念される道路交通への影響や安全対策について検討し、引き続き関係機関との協議を行います。
----	---

【支える】

自治体DXの推進（ICT利用の促進）（新規）【情報政策課】

13	デジタル技術の活用により行政サービスの利便性向上と自治体業務の効率化を実施する「自治体DX」に取り組むことに加えて、地域の課題及びデジタル技術の活用による解決の方向性の整理や、実現に向けたサービスの内容、数年間の取組み順序等のロードマップ及び全体的な計画策定を検討します。
----	--

介護認定・審査業務の効率化（新規）【高齢介護課】

14	介護保険制度における認定申請者数が増加する一方で、介護認定調査員などの人材不足が想定されることから、デジタル技術の活用等による業務効率化及び市民サービスの向上に当たっての体制づくりが求められています。 データ化された資料により介護認定業務が効率的かつ円滑に遂行できるようモバイル端末等のほか関連機器類を導入します。
----	--

带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成（新規）【健康づくり推進課】

15	带状疱疹は免疫機能が低下するとウイルスが活性化し発症することあがります。皮膚の症状が治った後も長期間にわたり強い痛みが続く合併症は、根本的な治療方法がなく、睡眠や日常生活に支障をきたす場合があります、発症予防や重症化を防ぐワクチン接種が有効だがワクチン費用は高額であることから、予防接種費用の一部を助成します。
----	---

【ばらのまちづくり】

光綾公園の再整備（継続）【みどり公園課】

16	令和4年度に着手したローズガーデンが完成し、6年度は十分な植栽管理を行い、7年5月の有料化施設としてのオープンを目指します。 あわせて、南側エリアでは、幼児用遊具広場、駐車場の新設及び、水遊び場、樹林散策路などの再整備に着手し、7年の全面供用開始を目指します。
----	---

ばらの普及（新規・継続）【秘書広報課、公共資産課】

17	市民や来訪者が「綾瀬市＝ばら」と認知できる環境を整えることで、本市の観光資源になることを目指し各種事業を実施します。 東名高速道路橋梁上に設置している横断幕2か所のリニューアル、「綾瀬市役所前」信号機の両サイドへばらを植栽するための花壇等を整備します。
----	---